

リチウムイオン電池総合対策ポータルサイトの公開

予防課

リチウムイオン電池は、モバイルバッテリーやスマートフォン、電動自転車等に広く使用されており、利便性が高い一方で、使用方法の誤りや不適切な廃棄等により、発火・発煙事故を引き起こす事例が増加しています。

こうした状況を踏まえ、消防庁は関係省庁と連携し、対策を進めているところであり、その一環として、国民や事業者に対してリチウムイオン電池による事故を防ぐために必要な情報や、適切な廃棄方法に関する情報を一元的に発信するポータルサイトを作成しました。



ポータルサイトの概要

本ポータルサイトでは、以下について分かりやすく解説しているほか、関係省庁で作成した広報用資料もまとめて掲載しています。

- ▶ リチウムイオン電池による火災の現状
- ▶ 事故を防ぐための3つの具体的なアクション「リチウムイオン電池の『3つのC』」
 - ✓ 買うとき～賢く選ぶ Cool choice ～
購入前に製品情報、マーク表示やリコール情報を確認して、安全基準を満たした製品を選びましょう。
 - ✓ 使うとき～丁寧に扱う Careful use ～
正しい使い方を常に意識するとともに、衝撃・高温を避け、異常を感じたら直ちに使用を中止しましょう。
 - ✓ 捨てるとき～正しく捨てるそして資源循環 Correct disposal with better recycling ～

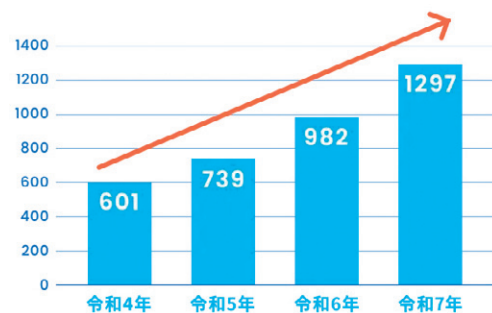
リチウムイオン電池使用の有無を確認し、正しい廃棄方法を確認してから捨てましょう。

詳しくは、リチウムイオン電池総合対策ポータルサイトをご参照ください。

<https://www.fdma.go.jp/relocation/lithium-ion/>

リチウムイオン電池による火災の現状

リチウムイオン電池関連の火災（廃棄されたリチウムイオン電池等を回収中の塵芥車及びごみ処理関連施設から出火した火災件数を除く。）は、令和4年は601件であったところ、令和7年には1,297件にまで増加しています。（下図参照）



特にモバイルバッテリーの出火件数は、令和6年は290件であったのに対し、令和7年は482件と約7割増となっており、主な出火原因としては、外部衝撃や高温下での使用が挙げられます。

モバイルバッテリー火災の初期消火

消防庁では、モバイルバッテリーから出火した場合の初期消火について、リーフレットを作成し、当該ポータルサイトで公開しております。

詳しくは、ポータルサイトのグローバルナビゲーションから『関係機関の方へ』⇒『広報用資料』をご確認ください。



問合せ先

消防庁予防課予防係 谷川・室中
TEL: 03-5253-7523